

人事院の機能発揮を強く求める 各ブロックから結集し問題解決に向け交渉 ～人事院九州事務局交渉～

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

責任者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 11月15日 全山労宮崎同友会大会(日向市)
- 17日 2023新採労働学校(19日まで)
- 12月1日 単産学習交流集会
- 4日 要請行動(大分市)
- 9日 西南三地本会議
- 16日 第6回地本レク
- 21日 地本団体交渉
- 22日 全国代表者会議

九州地本では、10月17日に人事院九州事務局交渉を実施。通算10回目の実施となりましたが、今回の交渉でも各ブロックより代表者4名が参加、地本執行部を含め、総勢10名で交渉。ブロック参加者は、北部ブロック・稲員(福岡分会)、熊本ブロック・米本(熊本南部分会)、宮崎ブロック・井上(西都児湯分会)、鹿児島ブロック・下田(鹿児島分会)。



交渉の冒頭、加藤地本委員長は「平成25年より一般会計化し、10年を経過したが、この間毎年要求してきている。人事院においても異動等あったと思うが、これまでの要求については引き継がれていると認識している。奥地や山間部など他の行政官庁にはない極めて特殊性の高い業務を進めているが、その特殊性が勤務条件や諸手当に反映されていない。慢性的なマンパワー不足であり、職員が減少を続ける中で現場業務だけでなく市町村や民有林への支援業務、近年多発している自然災害への対応

等、多岐にわたり複雑化しており業務の遂行が困難となっており、有林の現場実態を認識し現状改善に向けた前向きな回答を求める」と挨拶し、人事院九州事務局伊藤総務課長に要求書を手交しました。

内容は、①級別定数については、複雑かつ困難な業務となってきた現在の現状を踏まえた職務評価の適正化を図るとともに、2～6級の定数を維持すること、多数の一般職員が役付けポスト業務に従事していることから、昇格基準の緩和及び俸給月額に調整額を適用すること②森林官(3G)について、業務は多岐にわたり困難及び責任の度合いが増していることから級別標準職務表における4Gと複雑、困難及び責任の度が同程度の職務に位置づけること、また、俸給月額に調整額を適用し、森林官

の級の切り下げは行わないこと③行(二)については、級構成の簡素化や号級差額の改善を図ること。また、部下数制限事項のさらなる弾力的運用を図ること④特殊勤務手当については、国有林の現場業務における特殊性を踏まえ、支給要件の見直しを行うとともに適用業務の拡充を図ること。また、諸手当について特に地方で勤務する職員の勤務条件の向上となるよう改善を図ること⑤雇用と年金の接続について、希望どおりの再任用の実現を図ること。生活水準が確保できる給与制度の改善とあわせ、支給対象とされていない各種手当を支給対象とすること⑥定年引上げに係る60歳前後の給与水準の検討にあたっては、ゆとりある生活を確保できる水準とすることあわせ、55歳定年ストップを見直すこと。新規採用者数に影響が生じないように定員の弾力的運用を図ること⑦いわゆるピーク時特例については、退職手当に不利益が生じる場合は60歳時点の俸給月額を用いて退職手当を算出する等の運用とすること⑧通勤手当について、自動車使用にかかる燃料代を反映すること。公共交通機関使用通勤者の限度額を引き上げる⑨看護休暇の休暇日数の拡大や対象年齢の改善を図ること。夏季休暇を5日間に拡大

すること⑩地域手当の支給対象地区の拡大を図ること等を求めました。

また、各ブロック代表者が発言し、「山上等作業手当の適用業務拡大と増額」「昇格基準の緩和」「燃料費高騰による通勤手当の見直し」「看護休暇の充実」等の現場実態を踏まえた声が出されました。

これに対し人事院は、①級別定数については、改定は総理大臣が行うこととなっているが、人事院を尊重するとしている。改定のスケジュールに沿ってポスト数や人員数を踏まえて本年も適切に改定を行いたいと考えている。強い要望があったことを本院へ伝える②森林官の職内の給与については、公務における人事運用の実態や民間企業

これまでに各分会で対応していた「組合費等の二次控除処理」の変更に伴い、10月20日に全分会を対象として、地本6名、九州労働金庫2名でWeb会議を開催しました。

冒頭、加藤地本委員長より、「財政に係わる情勢」を交えた挨拶を受けた後、処理変更に伴う説明を行いました。

今回、処理変更に至った経緯としては、「分会担当者の負担軽減」「個人情報保護の強化」

これを底支えるため、検討を重ねてきたところで、

検討の結果、今後は地本で一括して事務処理を行うこととし、Web会議で意思統一を図ることができました。

また今回、全分会を繋いで初のWeb会議ということでしたが、トラブル等もなく進行することができました。今後、様々な場面でも活用するなど、Webの特性を活かした運動を検討していきます。

分会財政担当者会議 (Web) 全分会で意思統一

★組合員の皆様へ★
組合費の振替先変更のお知らせ

2023.12月より組合費の振替(引落し)先が変更になります。

旧) 組合員口座 → 分会口座
新) 組合員口座 → 地本口座

匠の腕 巨匠

「巨大ヤマネコ現る!!」
(撮影者 東 泰晟: 沖縄分会)

「匠の一言」
イリオモテヤマネコの最大サイズはこれくらいあるそうです。

先日、新作映画が公開された。初日に見た。タイトルは「アントニオ猪木」。

アントニオ猪木をさがして。燃える闘魂と呼ばれ多くの人に夢と感動を与えた彼の人生を振り返った内容だった。闘志溢れる闘いや、プライベートな場面もあり、彼の人間性も見られた。闘志溢れる彼でも晩年の闘病時には体は痩せて、燃える闘魂でもそんな状態になるのかと驚きを隠せなかった。プロレスには引退の年齢はなく、現役である以上は激しい闘いがあり、過去の古傷等も多いであろう。猪木氏とライバルだったGアントB場氏においては生涯現役で人生の暮を下ろした。少子高齢化で人手不足の現代において、仕事でも定年延長が繰り返され、ついには引退年齢(定年退職)がなく、人生の最期まで激闘(加重労働)という世の中とならぬ事を切に祈り、切に願う。(SUKU)

林野労組九州地本 執行体制一覽

Table with columns: 分会, 執行委員長, 副執行委員長, 書記長, (財政担当), 執行委員. Lists members across various branches like 福岡, 佐賀, 長崎, etc.

2023年10月7日現在

交渉積み上げ課題解消に全力で 取り組む 全分会で大会終了

北薩分会



全員でガンパロー

北薩分会は9月8日、出水市

「ホテルキング」において、組合員18名の出席のもと第20回定期大会を開催しました。

冒頭、白内委員長から「約3年半にわたり国民生活に多大な影響を及ぼした新型コロナウイルスによって、労働者の雇用や賃金、

労働環境や働き方にも変革が求められてきた中で、国有林野事業においては、慢性的な労働過重となっている職場実態や森林官等の空席ポストの解消等、現場管理機能強化に係る要員配置を求め取組を進めてきたが、未だ解消には至っていない。今後

冒頭、川口執行委員長から「岸田内閣は第二次岸田改造内閣を発足し、13名のポスト入れ替えを行い、また女性閣僚を起用するといった変化をアピールするなど独自の岸田内閣が続いている状況にある。原発処理水問題等、課題が山積みしていく中、どう舵取りをするのか注視

「熊本南部分会、後藤通信員」熊本南部分会第19回定期大会が9月14日、九州ろうきん人吉支店会議室において組合員26名(委任状8名)出席のもと開催しました。

冒頭、川口執行委員長から「岸田内閣は第二次岸田改造内閣を発足し、13名のポスト入れ替えを行い、また女性閣僚を起用するといった変化をアピールするなど独自の岸田内閣が続いている状況にある。原発処理水問題等、課題が山積みしていく中、どう舵取りをするのか注視

「熊本南部分会、後藤通信員」熊本南部分会第19回定期大会が9月14日、九州ろうきん人吉支店会議室において組合員26名(委任状8名)出席のもと開催しました。

「熊本南部分会、後藤通信員」熊本南部分会第19回定期大会が9月14日、九州ろうきん人吉支店会議室において組合員26名(委任状8名)出席のもと開催しました。

諸課題の前進と運動の発展に向け継続して 取り組むことを確認

九州地方森林労連第18回定期大会



組織強化に向けた開会挨拶

2023年10月27日、熊本市の九州森林労連会館において、九州地方森林労連第18回定期大会が行われました。

大会には、各地域森林労連、全山労、直加盟民林労組から代議員など19名が出席しました。

大会は、中川森林労連副委員長の開会あいさつで始まり、大会議長に各地域森林労連の柿田代議員(林野労組)を選出。冒頭、加藤森林労連執行委員長は、政治情勢に触れた後、「戦後植林された人工林が成長して森林資源は充実しているが、依然として林業経営は厳しく、そこで働く労働者の処遇改善が図られているとは言えない状況にある。現状については、全産業に比べて約90万ほど低い状況にあり、引き続き課題の前進に向けて取り組む必要がある。

こうした取組を進めるには組織強化が重要であり、組織強化の運動は組織拡大と労働運動を全体で進め、組織の基盤を固める組織態勢の確立を図り、各組織が労働運動の意義を確認し、強い組織を作ることが大切である。クビと命と暮らしを守るため、今、何をやるべきかしっかりと読み取りつつ組織としての行動を確認し、乗り遅れない運動を作り上げて行くことが重要。

討論では、○樹木採取権について○振動障害についてなどの討論が行われました。

その後、大会スローガン及び大会宣言を満場一致で可決し、全日程を終了しました。

- 書記長 古村健児 (林野労組)
書記次長 歌野国光 (林野労組)
財政局長 松本慎剛 (林野労組)
執行委員 富高義生 (林野労組)
執行委員 尾上秀樹 (都城地区民林労組)
執行委員 黒木勝美 (全山労宮崎)

熊本南部分会



新執行体制で

「熊本南部分会、後藤通信員」熊本南部分会第19回定期大会が9月14日、九州ろうきん人吉支店会議室において組合員26名(委任状8名)出席のもと開催しました。

冒頭、川口執行委員長から「岸田内閣は第二次岸田改造内閣を発足し、13名のポスト入れ替えを行い、また女性閣僚を起用するといった変化をアピールするなど独自の岸田内閣が続いている状況にある。原発処理水問題等、課題が山積みしていく中、どう舵取りをするのか注視

「熊本南部分会、後藤通信員」熊本南部分会第19回定期大会が9月14日、九州ろうきん人吉支店会議室において組合員26名(委任状8名)出席のもと開催しました。

「熊本南部分会、後藤通信員」熊本南部分会第19回定期大会が9月14日、九州ろうきん人吉支店会議室において組合員26名(委任状8名)出席のもと開催しました。

「熊本南部分会、後藤通信員」熊本南部分会第19回定期大会が9月14日、九州ろうきん人吉支店会議室において組合員26名(委任状8名)出席のもと開催しました。

あの人と人 「新婚ホヤホヤ」 田中 靖政さん(佐賀分会)
佐賀分会より紹介するのは、さわやかな笑顔とお昼休みの散歩は欠かさない、福岡県小郡市出身の田中靖政(たなかやすまさ)さんです。
佐賀森林管理署では、管理を担当して外部対応など大変そうなお仕事もそつなくテキパキとこなされています。
そんな田中さんは5月に前任地の鹿児島県にある、城山ホテルでもとても素敵な結婚式を無事挙げられたそう。
幸せいっぱい「新婚ホヤホヤ」。栄養士の奥さんの料理がかなり上手だそう。少し太ってしまったそうです。天気の良いお昼休みはお弁当も食べずに著の周辺の散歩に出掛けているそうです。
また、多趣味な田中さんはゴルフを中心に趣味の世界を広げており、最近では当分会の新採を引き連れてゴルフの打ちっ放しに行き、情熱の指導をしているみたいです。
加えて、大学生時代には小郡から佐賀まで自転車通勤するほど自転車が好きだったそう。今年にはゴルフに加えてかっこいい、自転車のツーリングを計画している様子。
通常業務に加えて組合活動や後輩の面倒をよく見てくれる優しい田中さんの今後の活躍に期待です。
(高倉通信員・佐賀分会)